

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.26  
平成26年2月25日

## 安井先生の情熱です！

24日（月）、清掃の時間に3階の6竹教室に入ると、やわらかな春の日差しが差し込み、教室の全体がとても明るく輝いていました。

「この教室は、明るくてきれいだね」と言うと、そばにいたH君が、「安井先生の情熱です」と笑顔で応えてくれました。H君は、いつもユーモアに富む会話でクラスの雰囲気をも明るく、温かくしてくれる存在のようですが、この言葉を聞いて私も心を癒やされる思いがしました。同時に「6竹の子たちは、担任の先生のことを好きなんだな」「信頼関係が深まっているな」と感じました。

子どもたちは、一生懸命やっている担任、一緒に遊んでくれる担任と日々ふれあう中、その情熱を肌で感じ取っているのでしょう。また、卒業を間近に控え、担任への感謝の気持ちを高めていることも感じ取ることができました。

## 全校朝礼の話より（2／24）

今日の話は、「アスリートから学ぶ」です。

楽天イーグルスの田中将大選手が、ニューヨーク・ヤンキースへ入団しました。ヤンキースは、アメリカの大リーグでも有名な球団の一つで、松井選手もいました。現在でも、イチロー選手やピッチャーの黒田選手もいます。田中選手の活躍が、今からとても楽しみです。

田中選手は、ジャイアンツの坂本選手とは小学校の同級生でした。2人は同じ野球チームで、坂本選手がピッチャーで、田中選手はキャッチャーでした。2人とも、小学校の卒業文集に、「将来はプロ野球選手になる」と書いていたそうです。そして、2人ともその夢をかなえました。

その当時の少年野球チームの監督が、「天才の坂本選手、努力の田中選手」と、話していました。坂本選手は初めからとても上手だったそうです。田中選手は、歯をくいしばって努力したそうです。私は、田中選手は努力して夢をかなえたと聞いて、ますます応援したいと思いました。

ぜひ桜小の皆さんも、夢をもって、その夢をかなえられるように、努力する人になってほしいと思います。

もう一つ、女子フィギュアスケートの真央ちゃんこと浅田真央選手です。浅田選手は、小さいころからフィギュアスケートを始め、ジュニアのころはトリプルアクセルを軽々と決め、安定感がありました。ところが、成長するにつれ、身長・体重が増え、トリプルアクセルが簡単に決まらなくなりました。4年前のバンクーバーオリンピックでは、ライバルのキム・ヨナ選手が金メダル、浅田選手は銀メダルでした。その後、ソチオリンピックまでの4年間、基礎から見直し、再びトリプルアクセルを入れた演技プログラムを構成し、ソチオリンピックに臨みました。

ソチオリンピックのSP（ショートプログラム）では、ミスが重なり予想外の16位となってしまいました。彼女にとっては、とったことのない最悪の結果に精神的にどん底まで落ち込んだはずですが、この最悪のスタートに集中力を切らし、翌日のフリーの演技でも良い結果が出せないのではと心配されましたが、「支えてくれた人に恩返ししたい」と、己を叱咤（しった）し、見事に気持ちを切り替え、フリーでの自己最高点を出しました。しかも、冒頭のトリプルアクセルから始まり、6種類全部のトリプルジャンプを8回着氷した初の女子選手となりました。

今回、浅田選手は、メダルはとれなかったけど、日本中、世界中の人々に感動と記憶のメダルを届けてくれました。そして、どんなにつらくても、「あきらめずに努力すれば、夢はかなう」ことを私たちに教えてくれました。